

管理會計概論

有斐閣雙書

管 理 会 計 概 論

青木茂男編



有斐閣双書

入門・基礎知識編

編者 青木茂男

大正4年9月生

昭和13年3月 早稲田大学卒

現在 早稲田大学教授



有斐閣双書

管理会計概論

昭和42年11月30日 初版第1刷発行

昭和53年3月20日 初版第7刷発行

編者

青木茂男

発行者

江草忠允

東京都千代田区神田神保町2～17

発行所 株式会社 有斐閣

電話 東京 (264) 1311 (大代表)

郵便番号 [101] 振替口座東京6-370番

本郷支店 [113] 文京区東京大学正門前

京都支店 [606] 左京区田中門前町44

印刷 映印刷株式会社・製本 稲村製本所
© 1967, 青木茂男. Printed in Japan
落丁・乱丁本はお取替えいたします。

★定価は外函に表示してあります

は し が き

管理会計の発展は最近とくに顕著なものがある。実務においても管理会計の実施が次第に浸透しつつあり、今や管理会計は会計実務家にとってたいへん身近かなものとなった。また理論面においても、最近では管理会計に関する諸研究が積極的になされ、資本予算、シミュレーション、貢献利益法、キャパシティ・コストなど続々と新しい研究成果をあげつつある。

今般ここに『管理会計概論』として、われわれの分担執筆によって、本書をとりまとめるにあたり、どのような観点からとらえていくかが一つの課題であった。つまり、①果たして管理会計の先端的な研究動向を伝えることに重点をおくべきか、あるいは②研究面からは従来相当程度に地固めが行なわれているものにもとづき、実務での活用や実施の便宜に重点をおいて、平均的な水準への引上げに研究面から参加することに重点をおくべきか、ということであった。本書では、われわれは後者の立場をとり、管理会計のテーマを選択し分担した。ただし各々の分担研究の中では、適宜新しい管理会計研究の息吹きを吸収したことは申すまでもない。

本書は書名が示すように、『管理会計概論』である。したがって、高度の管理会計研究の書物というよりは、むしろ入門書的なものであり、管理会計の全般的把握と、その基本的領域の研究に

はしがき

重点がむけられている。本書によって習得したところを、さらに展開してゆくためには、それぞれのテーマに関する最近の著書、論文などによって個別に研究をすすめていただきたい。

われわれの管理会計についてのこの書物は、以上のようなわけで『管理会計概論』という書名に忠実であったと思う。ただし、別に「管理会計特論」ともいうべき課題もまだ残されていることを承知の上で、本書を読んでいただきたいことを記して、本書の「はしがき」とする次第である。

昭和42年11月

編著者

執筆者および執筆分担

青 木 茂 男 (早 稲 田 大 学 教 授)	第Ⅰ章
山 口 年 一 (亜 細 亜 大 学 教 授)	第Ⅱ章
荒 木 金 男 (千 葉 商 科 大 学 教 授)	第Ⅲ章
西 沢 脩 (早 稲 田 大 学 教 授)	第Ⅳ章
菊 池 敏 夫 (千 葉 商 科 大 学 教 授)	第Ⅴ章
間 中 章 夫 (福 岡 大 学 教 授)	第Ⅵ章
伊 藤 博 (立 正 大 学 教 授)	第Ⅶ章
鎌 田 信 夫 (南 山 大 学 教 授)	第Ⅷ章
高 田 清 昭 (北 九 州 大 学 教 授)	第Ⅸ章
小 川 洸 (早 稲 田 大 学 教 授)	第Ⅹ章
細 田 尚 彦 (久 留 米 大 学 教 授)	第Ⅺ章

『有斐閣双書』の刊行に際して

わが社は、創業70周年記念出版の一として「有斐閣全書」を、次いで「教養全書」を、また80周年記念として「法律学全集」を、さらに随時各種の「講座」「演習」「辞典」などを刊行し、戦後における学術の発展と普及に大きな役割を果たしてきた。

しかし、近時の大学教育のめざましい進展により、学習・研究者の層が著しく拡大されてきたこと、さらに最近の社会的・経済的情勢の変化に伴ない社会人の再教育が重要性を加え、かつ実務上の問題解決に正しい指針を与える良書を求むる声の大なることを顧慮するとき、旧来の殻を破った新しい双書の必要を痛感するに至った。

『有斐閣双書』は正にその要請に応えるために企画されたもので、法律・経済・社会などの社会科学を中軸とし、広く人文科学その他の関連分野にわたる従来の研究の貴重な成果をとり入れ、表現は平易・簡潔に、内容は必要にして十分なコンパクトなものであることを期している。

本双書は、次の二つを主な内容とする。まず、〈入門・基礎知識編〉では、初学者のためのやさしい教科書、既修知識を能率よく整理するための参考書、さらに、通常の教科書では初学者には理解しにくいもの、または十分に論じ込んでいない問題についての、分りやすい解説などを収め、それぞれの読者層に対応した正しい基礎知識を提供する。

次に、〈理論・実務編〉では、理論・実務上の重要なテーマについて、専門分野の枠にとらわれることなく総合的に解説し、研究者にとっては、研究の豊かな糧となり、実務家にとっては、日常の執務のよき相談相手となることを期するものである。

執筆するには、それぞれの問題について、造詣の深い新鋭と権威にお願いし、読者の要望に正しく応えうるような最善の配慮をしている。この双書発刊の意義と熱意をくまれ、心からなる御支援をお願いしてやまない。

(昭和39年3月)

有斐閣双書 既刊と続刊

* 印は続刊 † 印は理論・実務編

末川 博編

法 学 入 門

伊藤正己・加藤一郎編

現 代 法 学 入 門

渡辺洋三編

法 の 常 識
＜改訂版＞

伊藤正己・加藤一郎編

教 材 法 学 入 門

天野和夫著

法 思 想 史 入 門

柴田光蔵著

ローマ法の基礎知識

伊藤正己著

憲 法 入 門

大西芳雄編

憲 法 概 説

阿部照哉・池田政章編

憲 法(1)
—総論—

阿部照哉・池田政章編

憲 法(2)
—基本的人権 1—

阿部照哉・池田政章編

憲 法(3)
—基本的人権 2—

阿部照哉・池田政章編

憲 法(4)
—統治機構—

綿貫芳源・高原賢治編

憲 法 25 講

小嶋和司著

憲 法 概 観
＜新版＞

宮田 豊・阿部照哉 著
畑 博行・中川 剛 著
基 本 憲 法

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学(1)
—人権の基本問題 1—

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学(2)
—人権の基本問題 2—

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学(3)
—人権の基本問題 3—

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学(4)
—統治機構の基本問題 1—

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学(5)
—統治機構の基本問題 2—

奥平康弘・杉原泰雄編

憲 法 学(6)
—統治機構の基本問題 3—

伊藤正己・阿部照哉
尾吹善人編

憲 法 小 辞 典

芦部信喜・小嶋和司

田口精一著

憲 法 の 基 礎 知 識
—質問と解答—

阿部照哉・池田政章編

憲 法 判 例
＜増補版＞

佐藤 功編

教 材 憲 法 入 門

今村成和著

行 政 法 入 門
＜新版＞

杉村敏正編

行 政 法 概 説 総 論

杉村敏正編

行 政 法 概 説 各 論

成田頼明・荒 秀・南 博方
近藤昭三・外間 寛著
現 代 行 政 法

南 博方・原田尚彦

田村悦一編
行 政 法(1)
—行政法総論—

南 博方・原田尚彦

田村悦一編
行 政 法(2)
—行政手続・行政訴訟—

南 博方・原田尚彦

田村悦一編
行 政 法(3)
—地方自治法—

広岡 隆著

行 政 代 執 行 法
†

杉村敏正・広岡 隆
関部逸夫著

行 政 法 の 基 礎 知 識
—質問と解答—

広岡隆・室井力・塩野宏編
行政法判例
＜改訂版＞

遠藤博也著
都市計画法50講
↑

鈴木景弥・高原賢治編
土地収用法50講
↑

下出義明編
土地区画整理法50講
↑

遠藤浩・荒秀・中村博英編
建築基準法50講
↑

南 博方著
*租税法入門

小松芳明著
法人税法概説

幾代 通・遠藤 浩編
民法入門

谷口知平・於保不二雄編
民法概説(1)
—総則・物権—

谷口知平・於保不二雄編
民法概説(2)
—債権—

谷口知平・於保不二雄編
民法概説(3)
—親族・相続—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(1)
—総則—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(2)
—物権—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(3)
—担保物権— <改訂版>

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(4)
—債権総論—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(5)
—契約総論—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(6)
—契約各論—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(7)
事務管理・不当利得・不法行為

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(8)
—親族—

遠藤浩・川井 健・原島重義
広中俊雄・水本浩・山本進一編
民法(9)
—相続—

樗 寿夫著
財産法 25 講
＜新版＞

島津一郎著
家族法入門

佐藤隆夫著
現代家族法 50 講

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(1)
—総論の重要問題—

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(2)
—物権の重要問題—

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(3)
—担保物権の重要問題—

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(4)
—債権総論の重要問題—

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(5)
—契約の重要問題—

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(6)
—不法行為の重要問題—

奥田・玉田・米倉・中井
川井・西原・有地編
民法学(7)
—親族・相続の重要問題—

幾代 通・鈴木景弥
広中俊雄著
民法の基礎知識(1)
—質問と解答—

高梨公之・染野義信
篠原弘志著
民法の基礎知識(2)
—質問と解答—

甲斐道太郎・乾 昭三
樗 寿夫編
民法判例(1)
—総則・物権—

甲斐道太郎・乾 昭三
樗 寿夫編
民法判例(2)
—債権—

中川 淳・久貴忠彦編
*民法判例(3)
—親族・相続—

水本 浩・高木多喜男編
民法 300 題

鈴木禄弥著

根 抵 当 法 の 問 題 点

↑

谷口知平・植林 弘著

損 害 賠 償 法 概 説

↑

五十嵐 清・田宮 裕著

名 譽 と プ ラ イ バ ン

↑

野村好弘著

自 動 車 事 故 の 民 事 判 例

↑

野村好弘著

医 療 事 故 の 民 事 判 例

↑

野村好弘著

名 譽 侵 害 の 民 事 判 例

↑

野村好弘著

学 校 事 故 の 民 事 判 例

↑

野村好弘著

公 害 の 判 例

↑

野村好弘著

日 照 の 判 例

↑

太田武男著

夫 婦 の 法 律

↑

<新版>

太田武男・久貴忠彦著

親 子 の 法 律

↑

<改訂版>

太田武男著

* 相 続 の 法 律

↑

服部栄三・北沢正啓編

商 法

<改訂版>

大隅健一郎・大森忠夫編

商 法 概 説(1)

序論・総則・会社法<再訂版>

大隅健一郎・大森忠夫編

商 法 概 説(2)

商行為・保険・海商・手形等

上柳克郎・北沢正啓編

鴻 常夫・竹内昭夫

会 社 法(1)

上柳克郎・北沢正啓編

鴻 常夫・竹内昭夫

会 社 法(2)

三戸岡道夫著

株 式 会 社 法 入 門

河本一郎著

約 束 手 形 法 入 門

<新版>

上柳克郎・中西正明編

商 法 判 例(1)

—総則・会社法—

上柳克郎・中西正明編

商 法 判 例(2)

商行為・保険・海商・手形等

蓮井・今井・菅原・長浜著

平出・前田・田村・神崎

コ ン メ ン タ ー ル 会 社 法(1)

—総則・設立～新株発行—

蓮井・今井・菅原・長浜著

平出・前田・田村・神崎

* コ ン メ ン タ ー ル 会 社 法(2)

—会社の計算～合資会社—

平出慶道著

株 式 会 社 の 設 立

↑

谷川 久著

商 品 の 売 買

↑

小野昌延著

不 正 競 争 防 止 法 概 説

↑

紋谷暢男著

無 体 財 産 権 法 概 論

紋谷暢男編

* 特 許 法 50 講

↑

紋谷暢男編

商 標 法 50 講

↑

中田淳一編

民 事 訴 訟 法 概 説(1)

—判決手続—

中田淳一編

民 事 訴 訟 法 概 説(2)

—強制執行—

藤木英雄著

刑 法

平場安治・井上正治

滝川春雄編

刑 法 概 説(1)

—総 論—

平場安治・井上正治

滝川春雄編

刑 法 概 説(2)

—各 論—

福田平・大塚仁・宮沢浩一

小暮得雄・大谷実編

刑 法(1) 総論 1

福田平・大塚仁・宮沢浩一

小暮得雄・大谷実編

刑 法(2) 総論 2

福田平・大塚仁・宮沢浩一
小暮得雄・大谷実編
刑 法(3) 各論 1

福田平・大塚仁・宮沢浩一
小暮得雄・大谷実編
刑 法(4) 各論 2

福田平・大塚仁・宮沢浩一
小暮得雄・大谷実編
刑 法(5) 各論 3

福田 平・大塚 仁著
刑法の基礎知識(1)
—総論—

福田 平・大塚 仁著
刑法の基礎知識(2)
—各論—

藤木英雄編
教材刑法入門

平場安治・宮内 裕編
学説・判例 刑法案内
〈新版〉

西原春夫・大谷 実編
刑 法 200 題

藤木英雄著
経済取引と犯罪
↑ 詐欺・横領・背任を中心に
藤木英雄・土本武司
松本時夫著
刑事訴訟法入門

松尾浩也・田宮 裕著
刑事訴訟法の基礎知識
—質問と解答—

佐藤晴夫・森下 忠編
犯罪者の処遇

有泉 亨編
労働法概説
〈新版〉

菊池勇夫・林 迪広編
労働法大意
〈改訂版〉

外尾健一著
労働法入門

片岡 昇著
労働法(1)
—総論・労働団体法—

片岡 昇著
労働法(2)
—統労働団体法・労働者保護法—

窪田隼人・本多淳亮
片岡 昇著
労働法の基礎知識
—質問と解答—

青木宗也・片岡 昇著
藤沼謙一・横井芳弘
労働法判例
〈新版〉

外尾健一・花見 忠編
教材労働法入門

花見 忠編
労働基準法 50 講
↑

花見 忠・保原喜志夫編
労災補償安全衛生50講
↑

久保敬治著
労使間の交渉手続
↑

萩沢清彦著
八時間労働制
↑

三島宗彦・佐藤 進著
労働者の災害補償
↑

西原道雄編
社会保障法
〈新版〉

佐藤 進編
社会保障法判例

佐藤 進・高沢武司編
児童福祉法 50 講
↑

小田 滋・石本泰雄
寺沢 一編
現代国際法

香西 茂・太寿堂 鼎
高林秀雄・山手治之著
国際法概説

沢木敬郎著
国際私法入門

篠原 一・永井陽之助編
現代政治学入門

内田 清・阿部 斉編
現代政治学小辞典

勝田吉太郎・山崎時彦編
政治思想史入門

加藤一明・加藤芳太郎
佐藤 竺・渡辺保男著
行政学入門

斉藤 孝編
国際関係論入門
＜第2版＞

中村英勝著
イギリス議会史
＜新版＞

大石泰彦編
現代経済学入門
＜増訂版＞

荒 憲治郎・福岡正夫編
経 済 学

熊谷尚夫・大石泰彦編
近代経済学(1)
—基礎理論—

熊谷尚夫・大石泰彦編
近代経済学(2)
—応用経済学—

熊谷尚夫・大石泰彦編
近代経済学(3)
—近代経済学史—

荒憲治郎・稻毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編
経 済 学(1)
—価格の理論—

荒憲治郎・稻毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編
経 済 学(2)
—厚生経済学—

荒憲治郎・稻毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編
経 済 学(3)
—産業組織論—

荒憲治郎・稻毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編
経 済 学(4)
—経済循環論—

荒憲治郎・稻毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編
経 済 学(5)
—所得の理論—

荒憲治郎・稻毛満春・小西唯雄
伊達邦春・根岸隆・福岡正夫編
経 済 学(6)
—経済成長論—

伊東正則・武野秀樹
平岡規正編
マクロ経済学要論

伊東正則・武野秀樹
土屋圭造編
ミクロ経済学要論

保坂直達・安井修二編
例解近代経済学講義(1)
—マクロ経済学—

藤野志朗・吉村二郎編
例解近代経済学要論(2)
—ミクロ経済学—

伊東正則・武野秀樹編
近代経済学要論

岡野行秀・根岸 隆編
公共経済学

宮崎義一編
近代経済学研究入門

大谷竜造・斎藤謙造編
現代経済学研究案内

馬場正雄編
計量経済学入門

置塩信雄著
近代経済学批判

手嶋正毅編
経済学の基礎

杉原四郎・佐藤金三郎編
マルクス経済学

横山正彦編
経済学概論

富塚良三編
経済分析入門

古川 哲編
経済学要論

宮本義男編
経済原論

杉本俊朗編
マルクス経済学
研究入門

出口勇藏編
経済学史入門

小林 昇編
経済学史

水田 洋編
社会思想史

相原 光・土屋六郎編
国際経済学入門
＜新版＞

水田 博・名和献三編
国際経済論

行沢健三編
入門国際経済学

松井 清著
世界経済入門
＜増訂版＞

木下悦二編
貿易論入門

宇高基輔編
社会主義経済論

千種義人編
経済政策

加藤 寛・中村秀一郎
新野幸次郎編
経済政策(1)
—経済政策の原理—

加藤 寛・中村秀一郎
新野幸次郎編
経済政策(2)
—日本の経済政策—

加藤 寛・中村秀一郎
新野幸次郎編
経済政策(3)
—日本の産業政策—

神野璋一郎・吉田義三編
経済政策論

野田 稔・中村秀一郎編
経済政策入門
＜新版＞

宮川公男編
システム分析概論
↑—政策決定の手法と応用—

新野幸次郎・伊東光晴編
寡占経済論
↑

越後和典編
産業組織論

伊東岱吉・小林義雄
加藤誠一編
工業経済論

藤田敬三・竹内正巳編
中小企業論
＜新版＞

加藤誠一編
中小企業問題入門
↑

一瀬智司・大島国雄
肥後和夫編
公共企業論

江見康一・塩野谷祐一編
日本経済論
—経済成長100年の分析—

美濃部亮吉・御園生 等編
日本経済入門
＜第2版＞

小尾恵一郎編
*日本経済分析入門

宮下武平編
日本産業論

宮沢健一編
産業構造分析入門

金子敬生編
産業連関分析
↑

川上正道・上原信博著
農業政策論
＜新版＞

尾上久雄編
経済体制論

増井健一・佐竹義昌編
交通経済論

中西健一・平井都士夫編
交通概論

角本良平著
都市交通政策論

福地崇生編
地域経済学

山田浩之編
*都市経済学

堀江英一著

經濟史入門
＜新版＞

石坂昭雄・船山栄一著
宮野啓二・諸田実著

西洋經濟史

永原慶二編

日本經濟史

後藤 靖・佐々木隆爾
藤井松一著

* 日本資本主義
発達史概説

龍 健一著

貨幣論

田村 茂・石川常雄
原 正彦著

金融論入門

矢尾次郎・川口慎二編

* 金融政策入門
＜新版＞

三宅義夫著

金融論

竹村脩一・玉野井昌夫編

* 金融經濟論
＜新版＞

紅林茂夫・東 米雄
斎藤 健編

銀行論入門
—日本の金融と銀行—

高木陽哉編

銀行論

川合一郎・一泉知永編

証券市場論
＜改訂版＞

伊奈田・熊野・呉・志村
竹村・野田・浜田著

証券經濟論

木村栄一・庭田範秋編

保險概論

庭田範秋編

保險經營論

長崎正造著

損害保險論入門

新庄 博著

國際金融論

村野 孝・松村善太郎編

國際金融
—通貨と制度—

小野朝男・西村閑也編

國際金融論入門

幸田精蔵編

外国為替論入門

木村 滋著

外国為替論

肥後和夫編

財政學要論
＜新版＞

牛嶋 正・米原淳七郎編

財政學入門

木下和夫・肥後和夫
大熊一郎編

財政學(1)
—財政の理論—

木下和夫・肥後和夫
大熊一郎編

財政學(2)

—日本の財政—

木下和夫・肥後和夫
大熊一郎編

財政學(3)

—日本の地方財政—

木下和夫編

財政政策入門

高橋 誠・柴田徳衛編

財政學

吉岡健次・和田八束編

現代地方財政論

米原淳七郎著

* 地方財政學

恒松制治・橋本 徹編

都市財政概論

橋本 徹・宇田川瑋仁編

福祉財政論

森田優三・竹内 清
宮川公男編

統計學入門

内海庫一郎・木村太郎
三路信邦編

統計學
＜改訂版＞

大橋隆憲・高木秀玄
大屋祐雪編

經濟統計

片岡信二著

コンピュータ入門
↑ ハード/ソフト/システム

岸本英太郎編

社会政策入門
＜改訂版＞

矢島悦太郎編

社会政策概論

岸本英太郎編

労働経済論入門

小野 旭・南 亮進編

労働経済論

近藤文二編

社会保障入門
＜新版＞

小山路男・佐口 卓編

社会保障論
＜新版＞

西村裕通編

労働者福祉論

黒住 章・中鉢正美
松本浩太郎編

老 齢 保 障 論
↑

佐口 卓著

医療保険論

吉村朗夫・戸木田嘉久編

現代社会政策

桜井信行編

現代経営学入門

中村常次郎編

経 営 学

高柳 暁・飯野春樹編

*経営学(1)
—総論—

高柳 暁・飯野春樹編

*経営学(2)
—管理の理論と実際—

馬場克三編

経営学概論

岡村正人編

経営学総論

田杉 競編

経営管理総論

松岡磐木編

経営管理論
＜改訂版＞

米川伸一編

経 営 史

丹波康太郎編

財務管理概論

細井 卓著

財務管理入門

後藤幸男・森 昭夫編

経営財務

森 五郎編

労 務 管 理 論
＜増訂版＞

海道 進・島 弘編

現代労務管理概論

藤田 忠編

人 事 管 理
↑

人見勝人著

生産の計画理論
↑

涌田宏昭編

経 営 情 報 論
↑

森下二次也編

商 業 概 論

深見義一編

マーケティング論
＜増訂版＞

マーケティング・
サンエンス研究会編

マーケティング調査
↑ 数量化理論の解説と応用

深見義一・佐藤 肇
田島義博編

流通問題入門
↑

久保村隆祐・高城 元編

*小売流通入門
↑

久保村隆祐・村田昭治編

広 告 論

鈴木忠義編

現代観光論

飯野利夫編

現代会計学入門
＜新版＞

山崎忠恕編

会 計 学
＜改訂版＞

青木茂男編

管 理 会 計 概 論

久保田音二郎編

管 理 会 計

久保田音二郎編

原 価 会 計

大即・君塚・近藤著
敷田・中村・成田著
原 価 計 算

高田正淳編

監 査 論

大山政雄編

機 械 会 計 論
↑

水島恵一編

人 間 科 学 入 門

水島恵一著

人 間 学

日本社会学会編集委員会編

現 代 社 会 学 入 門
＜第2版＞

福武 直・浜島 朗編

社 会 学

浜島 朗・竹内郁郎
石川晃弘編

社 会 学 小 辞 典

山根常男・森岡清美編

現代社会学の基本問題
↑

浜島 朗編

* 社 会 学 史

福武 直編

社 会 学 研 究 案 内
—問題点と文献解説—

福武 直・松原治郎編

社 会 調 査 法

安田三郎著

社会調査ハンドブック
＜新版＞

武藤真介著

社 会 統 計 学

森岡清美編

家 族 社 会 学

岩井弘融編

都 市 社 会 学

萬成 博・杉 政孝編

産 業 社 会 学

北川隆吉編

労 働 社 会 学 入 門

佐藤 毅編

社 会 心 理 学

日高六郎・佐藤 毅
稲葉三千男編

マス・コミュニ
ケーション入門

千葉雄次郎編

マス・コミュニ
ケーション要論

高木教典編

* マス・メディア産業論

姫岡 勤・二関隆美編

教 育 社 会 学

大橋 薫編

社 会 病 理 学

大橋 薫・大藪寿一編

都 市 病 理 学

大橋 薫・四方寿雄
光川晴之編

家 族 病 理 学

日本犯罪社会学会編

犯 罪 社 会 学

青井和夫・松原治郎
副田義也編

生 活 構 造 の 理 論

安田三郎編

現代日本の階級意識

中村八朗著
都市コミュニティ
の社会学

浜島 朗編
現代青年論

蒲生正男・祖父江孝男編
文化人類学

吉田祐吾・蒲生正男編
社会人類学

一番ヶ瀬康子・真田 是編
社会福祉論
＜新版＞

吉永 清・今岡健一郎
星野貞一郎編
社会福祉概説

小松源助編
ケースワーク論

一番ヶ瀬康子編
児童福祉論

山口 透編
少年保護論

平尾 靖編
非行・補導と矯正教育

星野貞一郎・藤村 哲
原田信一・井田範美編
障害福祉入門

早川和男・和田八束
西川桂治編
住宅問題入門
↑

末永俊郎編
現代心理学入門

大山 正・詫摩武俊
中島 力著
心理学
＜第2版＞

爽島文夫・安香 宏
森 武夫著
心理学要論

柿崎祐一・牧野達郎編
心理学(1)
—知覚・認知—

金城辰夫・斎賀久敬編
*心理学(2)
—学習・思考—

吉田正昭・祐宗省三編
心理学(3)
—動機づけ・情緒—

星野 命・河合隼雄編
心理学(4)
—人格—

岡本夏木・三宅和夫編
心理学(5)
—発達—

辻 正三・中村陽吉編
心理学(6)
—社会心理—

大山 正・藤永 保
吉田正昭編
*心理学小辞典

大山 正・池田 央
武藤真介編
心理測定・統計法

河内十郎・深田芳郎著
*生理心理学の基礎

沢田慶輔・小口忠彦編
教育心理学

小口忠彦・辰野千寿編
教育心理学原論

波多野宜余夫・久原恵子著
入門教育心理学

依田 明・永野重史著
*入門児童心理学

深谷昌志・深谷和子著
現代子ども論

津留 宏編
青年心理学

上出弘之・伊藤隆二編
知 能

金田利子著
乳幼児保育論

安藤瑞夫編
産業心理学